

※※※※ 株式会社 御中

大和サービス(株) 測定部

題名:※※※異臭調査

この度、御社より調査依頼のありました標記の件につきまして、ご報告申し上げます。

記

1. 調査内容

調査依頼日：〇〇年△△月☆☆日

調査品受領日：〇〇年△△月☆☆日

調査実施者：においテクニカルセンター ※※

添付資料：別紙1枚

受領サンプル

- ・異臭品1点及び正常品

2. 官能評価

サンプルから僅かにカビ臭が感じられました。

3. 調査方法

1) 前処理

サンプル400mLを分取し、塩化ナトリウム40gを溶かした後、n-ペンタン80mLを加え振とう抽出を行いました。n-ペンタン層取出し、脱水した後0.1mLまで濃縮したのについて、におい嗅ぎGC-MS分析を行いました。

2) におい嗅ぎGC-MS分析条件

装置：島津TQ-8030 検出器：MS 検出温度：250℃
カラム：DB-5MS (30m×0.32mm×0.5μm)
カラム温度：70℃(2分)→15℃/分→250℃(5分)

4. 調査結果

- ・におい嗅ぎGC分析から、官能試験と同様のカビ臭が感じられました。
- ・GC-MS分析の結果、異臭品から2,4,6-トリブロモアニソールが1ppt検出されました。

5. まとめ

異臭の原因物質は2,4,6-トリブロモアニソールと考えられます。
2,4,6-トリブロモアニソールは強いカビ臭を有する物質で、木材等から発生するケースが多く、使用されている防カビ剤が原因となっていると考えられます。

GC-MSチャート (m/z=344+346)

